送付枚数：４枚

高校生発明家から学ぶ「探究」と「挑戦」の力
企業との共創による小学生向け講演会を開催

令和８年１０月２０日

本市教育委員会では、「子どもまん中、挑み続ける多賀城の教育」を掲げ、子どもたちが自らの可能性を信じ、失敗を恐れず挑戦できる教育環境づくりを推進しています。その一環として、企業等の専門性や人材を学校教育につなげる「教育共創」に取り組んでいます。

この度、共創パートナー企業との連携により、高校生時代に身近な課題から生まれたアイデアで特許を取得した樫原優衣氏を講師に迎え、小学生向けのオンライン講演会を開催します。

本講演会では、講師自身の探究学習や発明に至るまでの試行錯誤の経験を通じて、子どもたちが「自ら問いを立て、考え、挑戦すること」の大切さを学び、日々の探究学習への意欲を高めることを目指します。

つきましては、下記のとおり開催しますので、報道・取材方よろしくお願いいたします。

記

１　日　　時　令和８年１０月２７日（火）
　　午後１時４０分から午後２時２５分まで
２　場　　所　多賀城市立多賀城小学校（多賀城市伝上山一丁目１番１号）
３　取材について
　　当日、取材いただける場合は、事前に担当まで連絡願います。

≪問い合わせ≫
教育委員会事務局教育総務課教育総務係
☎０２２－３６８－５０２１（直通電話）

総務部地域コミュニティ課広報広聴係
☎０２２－３６８－２０９２

別紙

１　多賀城市が進める「教育共創」とは

～学校だけでは実現が難しい学びを、企業や地域とともにつくる～

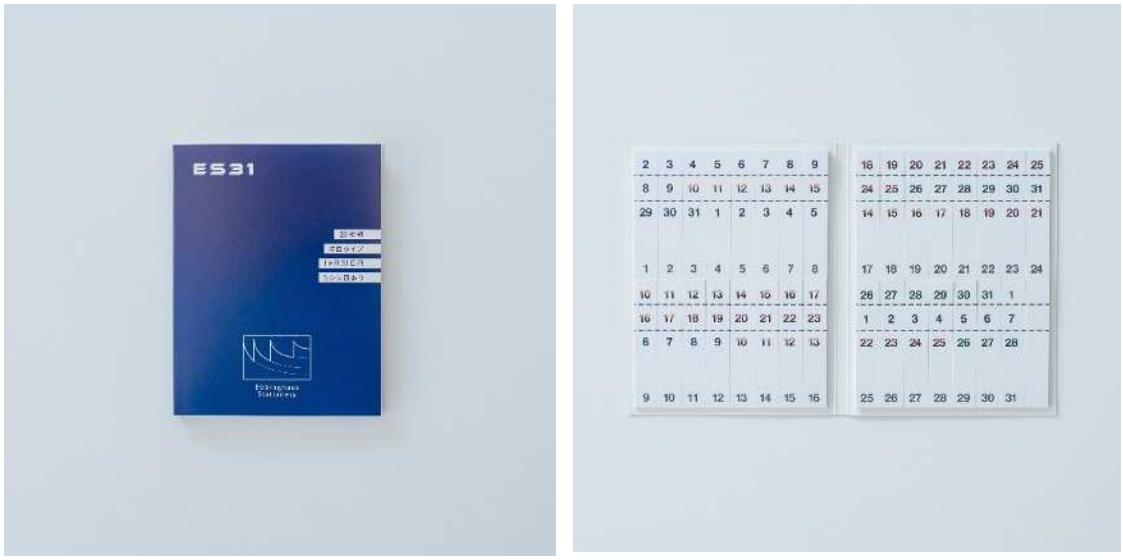
多賀城市教育委員会では、子どもたちが変化の激しい社会を主体的に生き抜いていくためには、学校で身に付けた知識や技能を、実社会の課題や新たな価値の創造につなげる経験が重要であると考えています。

今年度から、企業・大学・研究機関・NPO・地域団体等の多様な主体と連携し、子どもたちの可能性を広げる人材育成プロジェクト「JUMP OVER（ジャンプオーバー）プロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトでは、学校での学びと実社会をつなぎ、企業等が持つ専門的な知識や技術、人材、経験を子どもたちの学びに生かす、新たな「教育共創」に取り組んでいます。一過性の支援にとどまらず、企業と学校が継続的に関わり合い、子どもたちの学びをともにつくることを目指しています。

２　講演会概要

(1) 日時：令和８年１０月２７日（火）
　　午後１時４０分から午後２時２５分まで
(2) 会場：多賀城市立多賀城小学校（多賀城市伝上山一丁目１番１号）
(3) 対象：小学６年生　約１００人
(4) 講師：樫原 優衣 氏
　（現役医学部生／「エビングハウスフセン」開発者・特許取得者）
(5) 講演テーマ：「エビングハウスフセン」と夢の叶え方
(6) 開催方法：オンライン講演
(7) 主催：多賀城市教育委員会
(8) 協力：株式会社 Ebbinghaus Stationery



「エビングハウスフセン」商品画像

３　講演会の主な内容

⑴ 身近な「困った！」から生まれた発明

「復習するタイミングを簡単に管理したい」という日常の小さな悩みから生まれたアイデアを、発明や特許取得につなげた経験を紹介します。

⑵ 探究学習が育む「自ら考える力」

小学生時代から探究学習に取り組んできた経験を踏まえ、身近な疑問に関心を持ち、自ら調べ、考え、工夫することの大切さを伝えます。

⑶ 失敗を恐れず、アイデアを形にする挑戦

特許取得や商品化に至るまでの試行錯誤を通じて、身近なアイデアにも新たな価値を生み出す可能性があることや、失敗を恐れず挑戦することの大切さを伝えます。

４　多賀城小学校で取り組む「探究的な学び」

多賀城小学校では、児童が自らの興味・関心に基づいてテーマを設定し、主体的に調べ、考える探究学習「博士ちゃんになろう」に取り組んでいます。

今回の講師である樫原氏も、小学生時代から探究学習に取り組んでおり、その経験が高校生時代の発明や特許取得につながっています。

本講演会は、児童が日頃取り組んでいる探究学習と実社会での発明や新たな価値の創造とのつながりを、講師の実体験を通じて学ぶ機会となります。

「学校での学びが、社会でどのように生かされるのか。」

その具体的な事例に触れることで、児童が日頃の学びの意義を実感するとともに、自ら問いを立て、考え、挑戦する意欲を高めることを目指します。

５　報道・取材に当たっての留意事項

⑴ 講師の撮影について

当日はオンラインでの実施となりますが、講師の希望により顔写真及び顔が映る映像の撮影はご遠慮ください。モニター画面を含む撮影についても、講師の顔が映り込まないよう、児童の背後からの撮影や講演スライドを中心とした撮影など、撮影方法にご配慮をお願いします。

⑵ 児童の撮影について

撮影が認められていない児童がいるため、児童を撮影する際は、必ず事前に現場の担当教員に確認し撮影可能な範囲でのご対応をお願いします。

⑶ 主な取材・撮影可能場面

当日は、次のような場面を中心に取材・撮影いただけます。

① 児童が講演を聴講する様子

・児童が講師の話に耳を傾ける様子

・講演スライドを見ながら学ぶ様子など

② 講演で使用する資料や教材

・講演スライドの映像

・講師が開発した「エビングハウスフセン」の実物

・児童がフセンを手に取り、観察する様子など

③ 児童と講師の交流場面

・児童から講師への質問や、講師とのやり取りの様子

(4) 取材に当たってのお願い

円滑な取材対応と児童の学習環境の確保のため、取材を希望される場合は、事前にご連絡ください。

６　お問い合わせ

多賀城市教育委員会教育総務課教育総務係
TEL:022-368-5021
E-mail：kyoiku@city.tagajo.miyagi.jp